

教室名：川南小元気っ子子ども教室

連絡先：川南町教育委員会生涯学習課

電話：0983-27-5694

FAX：0983-47-0503

1 実施状況

主な活動場所	川南町川南別館	対象学校	川南町立川南小学校
開設時間・ 年回数等	毎週水曜日 年（36回） 午後3時～午後6時	対象学年 平均参加人数	3～6年生 22名
【放課後子ども教室の取組】 英語教室・体作り体操（通年）芋植え体験（5月）押し花教室（6・7月）水辺の教室（9月）サイエンス（10月）ネイチャーゲーム（10月）農地活性化プロジェクト（11月）お茶の作法教室（1月）昔遊び（2月）			
○コーディネーター（1）人 ○教育活動推進員（0）人 ○教育活動サポーター（2）人			

2 特色のある取組の紹介

① 「地域の人々や地域の自然に触れ、自主性や協調性を築きます」



【ここがイチオシ・教室自慢！】

- ・ 体験活動を通して身近な生き物や自然を大切にすることを育んだ。
- ・ 夏休み体験活動では、多くの子どもたちが積極的に参加した。

○ 活動内容

（平日の活動）

- ・ 5月には芋苗植え、10月には芋ほり体験を通して農業の苦労や収穫の喜びを学んだ。
- ・ 9月には環境対策課の職員を講師に迎え水辺の教室を行い、水質検査や小川に住む生き物を調査し身近な環境問題について考えた。
- ・ 10月にはネイチャーゲームを行い、秋ならではの木の実や木の葉をじっくりと観察し、自然あふれる郷土に感謝する心を育んだ。
- ・ 農業委員会の農地活性化プロジェクトに参加し、収穫されたそば粉を使ってアメリカンドック・そば饅頭を作る料理活動に取り組んだ。（多賀小元気っ子子ども教室の児童が種まき、収穫作業を行った。）
- ・ 夏休みキャンプでは、川南町内5校の元気っ子子ども教室生と元気っ子サークル生を対象に67名の児童の参加があり、御池青少年自然の家で野外炊飯やキャンドルファイヤー、追跡ハイキングを行った。さまざまな体験を通して自主性や協調性を持ち、町内の小学校児童との交流を図ることが出来た。



【水辺の教室】



【芋苗植え】



【元気っ子キャンプ】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・ みんなが協力すると色々な行事が楽しくなるんだなあと思いました。（児童）
- ・ キャンプで楽しかったことは野外炊飯でカレーやご飯を作ったことです。班のみんなで協力し色々な役に分かれてカレーライスをおいしく作ることができました。（児童）
- ・ 小川にはいろいろな生き物がいることを知った。小魚がたくさんいて楽しかった。（児童）

教室名：通山小元気っ子子ども教室

連絡先：川南町教育委員会生涯学習課

電話：0983-27-5694

FAX：0983-47-0503

1 実施状況

主な活動場所	川南町通山別館	対象学校	川南町立通山小学校
開設時間・年回数等	毎週水曜日 年(36回) 午後3時～午後6時	対象学年 平均参加人数	3～6年生 22名
【放課後子ども教室の取組】 英語教室・体作り体操(通年) 芋植え体験(6月) 押し花教室(5・6月) 水辺の教室(9月) ネイチャーゲーム(10月) サイエンス(11月) 農地活性化プロジェクト(12月) お茶の作法教室(1月) 昔遊び(2月)			
○コーディネーター(1)人 ○教育活動推進員(0)人 ○教育活動サポーター(3)人			

2 特色のある取組の紹介

① 「地域の人々や地域の自然に触れ、自主性や協調性を築きます」



【ここがイチオシ・教室自慢！】

- ・ 体験活動を通して身近な生き物や自然を大切に作る心を育んだ。
- ・ 夏休み体験活動では、多くの子どもたちが積極的に参加した。

○ 活動内容

(平日の活動)

- ・ 6月には芋苗植え、10月には芋ほり体験を通して農業の苦労や収穫の喜びを学んだ。
- ・ 9月には環境対策課の職員を講師に迎え水辺の教室を行い、水質検査や小川に住む生き物を調査し身近な環境問題について考えた。
- ・ 10月にはネイチャーゲームを行い、秋ならではの木の実や木の葉をじっくりと観察し、自然あふれる郷土に感謝する心を育んだ。
- ・ 農業委員会の農地活性化プロジェクトに参加し、収穫されたそば粉を使ってアメリカンドック・そば饅頭を作る料理活動に取り組んだ。(多賀小元気っ子子ども教室の児童が種まき、収穫作業を行った。)
- ・ 夏休みキャンプでは、川南町内5校の元気っ子子ども教室生と元気っ子サークル生を対象に67名の児童の参加があり、御池青少年自然の家で野外炊飯やキャンドルフェイヤー、追跡ハイキングを行った。さまざまな体験を通して自主性や協調性を持ち、町内の小学校児童との交流を図ることが出来た。



【芋苗植え】



【水辺の教室】



【料理教室】



【元気っ子キャンプ】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 水辺の教室をまたやりたいです。(児童)
- ・ 入ったときはどんなことをするのだろうと思ったけど入ったらすごく楽しかったです。(児童)
- ・ いろいろなことにチャレンジして、いろいろな知識が増えてよかったです。(児童)
- ・ 元気っ子では、ほかの学年の人と話したり遊んだりできたので楽しかったです。(児童)

教室名：多賀小元気っ子子ども教室

連絡先：川南町教育委員会生涯学習課

電話：0983-27-5694

FAX：0983-47-0503

1 実施状況

主な活動場所	川南町多賀別館	対象学校	川南町立多賀小学校
開設時間・年回数等	毎週水曜日 年(36回) 午後3時～午後6時	対象学年 平均参加人数	3～6年生 20名
【放課後子ども教室の取組】 英語教室・体作り体操(通年) 芋植え体験(5月) 押し花教室(5・6月) 水辺の教室(7月) ネイチャーゲーム(10月) サイエンス(11月) 農地活性化プロジェクト(8・11・12月) お茶の作法教室(12月) 昔遊び(1月)			
○コーディネーター(1)人 ○教育活動推進員(0)人 ○教育活動サポーター(3)人			

2 特色のある取組の紹介

① 「地域の人々や地域の自然に触れ、自主性や協調性を築きます」



【ここがイチオシ・教室自慢！】

- ・ 体験活動を通して身近な生き物や自然を大切にすることを育んだ。
- ・ 夏休み体験活動では、多くの子どもたちが積極的に参加した。

○ 活動内容

(平日の活動)

- ・ 6月には芋苗植え、10月には芋ほり体験を通して農業の苦労や収穫の喜びを学んだ。
- ・ 9月には環境対策課の職員を講師に迎え水辺の教室を行い、水質検査や小川に住む生き物を調査し身近な環境問題について考えた。
- ・ 10月にはネイチャーゲームを行い、秋ならではの木の実や木の葉をじっくりと観察し、自然あふれる郷土に感謝する心を育んだ。



【ここがイチオシ・教室自慢！】

今年度より耕作放棄地解消を目的とした川南農地活性化プロジェクトに参加した。川南町農業委員の方々から指導を受け、種まき、収穫作業を多賀小元気っ子子ども教室の児童を中心に行った。

～川南町農地活性化プロジェクト～



【蕎麦の種まき】



【農業委員の方々と記念撮影】



【蕎麦の実おとし】



【料理教室】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ いろいろな体験をして、友達とたくさん遊べたので楽しかったです。(児童)
- ・ 学校では体験できないことをみんなで体験できるし、そのことを詳しく知ることができるので放課後が楽しくなりました。(児童)
- ・ 友達もたくさんできたので楽しかったです。(児童)

教室名：東小元気っ子子ども教室

連絡先：川南町教育委員会生涯学習課

電話：0983-27-5694

FAX：0983-47-0503

1 実施状況

主な活動場所	川南町東別館	対象学校	川南町立東小学校
開設時間・年回数等	毎週水曜日 年(36回) 午後3時～午後6時	対象学年 平均参加人数	3～6年生 11名
【放課後子ども教室の取組】 英語教室・体作り体操(通年) 芋植え体験(5月) 押し花教室(5・6月) 水辺の教室(9月) サイエンス(9・11月) ネイチャーゲーム(11月) 農地活性化プロジェクト(12月) お茶の作法教室(1月) 昔遊び(1月)			
○コーディネーター(1)人 ○教育活動推進員(0)人 ○教育活動サポーター(2)人			

2 特色のある取組の紹介

① 「地域の人々や地域の自然に触れ、自主性や協調性を築きます」



【ここがイチオシ・教室自慢!】

- ・ 体験活動を通して身近な生き物や自然を大切にすることを育んだ。
- ・ 夏休み体験活動では、多くの子どもたちが積極的に参加した。

○ 活動内容

(平日の活動)

- ・ 5月には芋苗植え、10月には芋ほり体験を通して農業の苦労や収穫の喜びを学んだ。
- ・ 9月には環境対策課の職員を講師に迎え水辺の教室を行い、水質検査や小川に住む生き物を調査し身近な環境問題について考えた。
- ・ 11月にはネイチャーゲームを行い、秋ならではの木の実や木の葉をじっくりと観察し、自然あふれる郷土に感謝する心を育んだ。
- ・ 農業委員会の農地活性化プロジェクトに参加し、収穫されたそば粉を使ってアメリカンドック・そば饅頭を作る料理活動に取り組んだ。(多賀小元気っ子子ども教室の児童が種まき、収穫作業を行った。)
- ・ 夏休みキャンプでは、川南町内5校の元気っ子子ども教室生と元気っ子サークル生を対象に67名の児童の参加があり、御池青少年自然の家で野外炊飯やキャンドルファイヤー、追跡ハイキングを行った。さまざまな体験を通して自主性や協調性を持ち、町内の小学校児童との交流を図ることが出来た。



【芋苗植え】



【水辺の教室】



【ネイチャーゲーム】



【元気っ子キャンプ】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ 夏休みのキャンプや体験活動などいろいろな体験ができて楽しかった。(児童)
- ・ やったことのない体験をしたので、すごく楽しかったです。(児童)
- ・ いろんなことにチャレンジして、がんばったりすることが楽しかったです。(児童)

教室名：山本小元気っ子子ども教室

連絡先：川南町教育委員会生涯学習課

電話：0983-27-5694

FAX：0983-47-0503

1 実施状況

主な活動場所	川南町山本別館	対象学校	川南町立山本小学校
開設時間・年回数等	毎週水曜日 年(36回) 午後3時～午後6時	対象学年 平均参加人数	3～6年生 6名
【放課後子ども教室の取組】 英語教室・体作り体操(通年) 芋植え体験(5月) 押し花教室(5・7月) 水辺の教室(9月) サイエンス(10月) ネイチャーゲーム(11月) 農地活性化プロジェクト(11月) お茶の作法教室(1月) 昔遊び(2月)			
○コーディネーター(1)人 ○教育活動推進員(0)人 ○教育活動サポーター(2)人			

2 特色のある取組の紹介

① 「地域の人々や地域の自然に触れ、自主性や協調性を築きます」



【ここがイチオシ・教室自慢!】

- ・ 体験活動を通して身近な生き物や自然を大切に作る心を育んだ。
- ・ 夏休み体験活動では、多くの子どもたちが積極的に参加した。

○ 活動内容

(平日の活動)

- ・ 5月には芋苗植え、10月には芋ほり体験を通して農業の苦労や収穫の喜びを学んだ。
- ・ 9月には環境対策課の職員を講師に迎え水辺の教室を行い、水質検査や小川に住む生き物を調査し身近な環境問題について考えた。
- ・ 11月にはネイチャーゲームを行い、秋ならではの木の実や木の葉をじっくりと観察し、自然あふれる郷土に感謝する心を育んだ。
- ・ 農業委員会の農地活性化プロジェクトに参加し、収穫されたそば粉を使ってアメリカンドック・そば饅頭を作る料理活動に取り組んだ。(山本小元気っ子子ども教室の児童が看板製作、多賀小元気っ子子ども教室の児童が種まき、収穫作業を行った。)
- ・ 夏休みキャンプでは、川南町内5校の元気っ子子ども教室生と元気っ子サークル生を対象に67名の児童の参加があり、御池青少年自然の家で野外炊飯やキャンドルファイヤー、追跡ハイキングを行った。さまざまな体験を通して自主性や協調性を持ち、町内の小学校児童との交流を図ることが出来た。



【芋苗植え】



【農地活性化プロジェクト】



【ネイチャーゲーム】



【元気っ子キャンプ】

○ 事業を実施して(参加者等の声)

- ・ たくさん友達ができてよかったです。(児童)
- ・ いろいろなことが体験できてよかったです。(児童)